

令和4年度 まちづくり懇談会のお知らせ

令和4年度まちづくり懇談会の10月開催予定をお知らせします。地区の皆さまには多数ご参加いただき、活発なご意見、ご提案をお願いいたします。なお、諸事情により日程を変更する場合は防災アプリ等にて周知させていただきます。

令和4年度まちづくり懇談会日程表（10月）

月 日	曜 日	開始時間	地 区 名		会 場
10月 4日	火	9:45	魚島	魚 島	魚島地域交流施設
10月 4日	火	19:00	生名	1.2.3分団	生名総合支所 2階
10月17日	月	19:00	弓削	久司浦	久司浦集会所
10月28日	金	14:00	弓削	沢 津	沢津集会所
10月31日	月	19:00	弓削	上弓削・緑ヶ丘	老人福祉センター
日程調整中		9:45	魚島	高井神	高井神公民館
11月開催予定		19:00	弓削	下弓削	せとうち交流館
		19:30	岩城	西部・谷・浜・浜2	石ヶ坪集会所
		19:30	岩城	海原・東1・東2・西・高原・大谷・新地	岩城総合支所庁舎
		19:30	岩城	赤石・小漕・長江・船越	北集会所

■ 問い合わせ 企画情報課広報広聴係 ☎ 77-3952

・極楽湯杖忘れさす至福時
・酒肴妻と献秋の月
・断捨離が貧乏性で出来ぬまま
・良く見える人の生活羨やむな
・大花火コロナ打ち消す糧となれ
・時季はずれまた災害に痛む胸

大林 正憲



田作 京子

・新米や漬け物だけで3杯目
・最終便イルカ群れゆく夏の夕

能地 典子

魚島俳歌柳会【魚島】

かみじま郷土話 15

旅する塩

先日、船を所有している方に乘せてもらって、百貫島の近くまで行ってきました。弓削島からほど近いと感じていましたが、上弓削の港から出発して約 25 分と意外と距離があるのだとわかりました。子どものころに弓削島の久司浦地区から百貫島まで遊びに行っていたという男性のお話によると、手漕ぎの船では片道1時間ほどかかったようです。中世の時代、弓削島荘の塩を東寺に納めるために瀬戸内海を航海した人々も、苦勞して塩を運んだことが想像できます。

東寺百合文書の文永 11 年(1274 年) 7 月 25 日「伊予国弓削島庄年貢塩送進状」(と函 17) の記録によると、梶取(運送の責任者)である平延永が、大俵塩 165 俵(82 石ほど)を京都に送っています。1 回に送られる塩は、大体 100 か

ら 150 石だったとみられ、100 石程度の積載能力を持つ船が年貢の輸送に使用されていたと考えられています。鎌倉時代の絵巻物『一遍聖絵』に、瀬戸内海を航海する同じくらいの規模と考えられる年貢輸送船が描かれています。

塩を積んだ船は、島を出航して備讃瀬戸、播磨灘を通過し、大阪湾から淀川に入ったとみられます。淀は、平安時代以来大規模な魚市場が置かれ、瀬戸内海の水産物の多くはここで取引されるなど、活発な商業活動が行われていました。塩は、淀川のさらに上流の鳥羽まで運ばれ陸揚げされ、鳥羽の車力によって京都へ陸上輸送されました。上記の送進状に「文永十一年八廿七到来」(文永 11 年 8 月 27 日)という東寺の関係者が受けとったメモが書かれていることから、塩は 1

か月ほど旅をして京都に到着したのでした。(史料の函名と番号は「東寺百合文書 WEB」より。スマートフォンやパソコンで東寺百合文書の原本写真を見ることができます。)



▲瀬戸内海を航海する年貢輸送船「一遍聖絵」(国立国会図書館デジタルコレクション)



教育課 曾根 大地

Pen y fan (ペン・イ・ファン)

英会話教室

弓削 月 19:30 ~ 弓削地域交流センター
生名 月 11:00 ~ 3分団集会所
岩城 木 20:00 ~ 岩城総合支所庁舎

上島のみなさん、こんにちは。弓削の ALT のジョージです。今回は、私の趣味のひとつでもある、登山について話したいと思います。

ウェールズという国を聞いたことがありますか。ウェールズとは、イギリスにあるグレートブリテンおよび、北アイルランド連合王国を構成する4つの国のひとつです。人口は約310万人です。日本のように山も多くある国です。私はイングランドの生まれですが、故郷がウェールズとの国境近くにあるので、父とよく登山をしていました。登山した中で、特に印象に残っている山は、「Pen y fan」という山です。ブレコンビーコンズという山地にあり、高さが約880m、南ウェールズ最大の山です。「Pen y fan」とは実は英語ではなく、

ウェールズ語で、「山の山頂」を意味しています。イギリスの山は、写真のように日本と少し違って木がなく、滑らかな感じです。



ここの山頂への道は谷間を走っていて、奥には湖もあります。登山の途中、その湖で休憩をしました。太陽が映っている湖面と山を見ながら休憩すると、とてもリフレッシュになりました。休憩が終わり、その3時間後、やっと山頂に辿り着きました。そこからの景

色はとても素晴らしかったです。晴れていれば、山頂から私の故郷がかすかに見えます。長時間歩いたため足が痛く、とても疲れたけど、とても楽しかったです。この体験は、私の心にも刻まれています。

みなさんも、イギリスに行く機会があれば、ぜひウェールズの「Pen y fan」に登ってみてください!



今月の担当 ALT
マリンズ・ジョージ (弓削)

わたしの
上島旅

— 第31回 —

今月の旅人



尼子 司・志保 家族
生名島在住

2022 年 5 月に広島市から家族 4 人で生名島へ移住してきました。自然に囲まれた環境で子育てがしたいという思いがあり、1 年ほど移住先を検討していました。空き家バンク見学のために上島町を訪れた時、海や山がきれいなところはもちろん、まち全体が清潔でゴミが落ちていないところがとても印象的でした。このきれいな町並み、海や緑に囲まれた生活がしたいと思い、その日のうちに上島町へ移住することを決めました。

生名島に移住をして 4 ヶ月ほど経ちましたが、地域の方の優しさをとても感じています。地域の活動や清掃などの際には事前に声をかけてもらったり、朝とれた野

菜や果物を持ってきてくれたりと日々支えてもらっています。綺麗な海や自然の中を散歩したり、近所の方とお話したりと何気ない日常生活が楽しく豊かになりました。

現在は、生名島で珈琲焙煎所兼カフェをするため、間借り営業やイベント出店して準備を進めています。町内の方にとってはゆっくり過ごせる憩いの場所に、観光に來られた方には上島町のよさなどを感じてもらえるような場所にしたいと思っています。

私たち家族の上島町での生活は始まったばかりです。何事においても楽しむことを忘れず、いろいろなことにチャレンジしてみたいと思っています。

お問い合わせ ☎ 0897-72-9277

上島町観光協会
Kamijima Tourism Association

<http://www.kamijima.info>